

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	塵芥収集指導・啓発事業	コード	11209
-------	-------------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 市民環境課	作成者 吉田 和正
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち		
		政 策	環境保全の推進	施 策	生活環境対策の推進
		予算科目	塵芥収集指導啓発事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	廃棄物処理及び清掃に関する法律第6条の2		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	ごみ減量と3Rの推進を図るため、講習会や学習会の開催、各種啓発イベントの実施、広報・チラシなどによる意識啓発活動を行う。			
目的	対象者	市民・事業者		
	意 図	ごみ減量と3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進		

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
		<ul style="list-style-type: none"> 岡谷市家庭ごみ収集カレンダーを作成し、全戸配布した。 カレンダーに収集業者6社の広告を掲載し、「家庭ごみの分け方・出し方」のイラスト入りの説明を掲載した。 分別されていない燃えるごみ、燃えないごみ、その他プラスチック、生ごみに違反シールを貼付し、注意を促した。排出者が特定出来るものは直接指導を行った。 衛生事務嘱託員を委嘱し、ルールの守られない排出者に対し指導を行った。 地区衛生自治会の方々と、定位置において分別の手伝いを行った。 ごみ・資源物の出し方、特に分別の変更点等については、チラシを全戸配布するなど重点的周知の徹底を図った。 		
前年度の課題への対応	・外国人にも分別の理解をしていただけるよう、外国語の分別カレンダーの作成を行った。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	出前講座などの勉強会、施設見学などの事業件数			単位	件
実績値	15	15	16		
* 指標の説明	学習会の開催数（サンデーリサイクルは除く）				
② 成果指標（指標名）	違反シール貼付件数			単位	件
目標値	4,519	4,601	3,950	3,300	
実績値	5,112	4,388	3,666		
達成度	113.1%	95.4%	92.8%		
* 指標の説明	定位置へのごみ排出違反に対する直接指導件数				
* 目標値の設定方法の説明	前年度貼付件数の実績値×0.9				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	838,552	1,087,963	1,129,167	1,729,000
経常経費	838,552	1,087,963	1,129,167	1,729,000
臨時的経費	0	0		0
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
正規職員の人数(人)	0.75	0.75	0.75	0.75
③ 合計コスト(①+②)	6,838,552	7,087,963	7,129,167	7,729,000
前年度比		103.6%	100.6%	108.4%
財源	6,538,552	6,787,963	6,829,167	7,429,000
一般財源				
内訳	300,000	300,000	300,000	300,000
特定財源				
* 特定財源の説明 ごみ収集カレンダー広告料収入				
④ 活動一単位あたりコスト	455,903	472,531	445,573	
前年度比		103.6%	94.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 83.5%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 92.8%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区への未加入者や、アパートの住人、外国人のルールが守られていないケースが多い。 ・説明会を開催しても、環境やごみ減量に関心のある人の参加は得られるが、分別が出来ていない市民の参加が得られない。
改 善 方 法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量へ向け、ごみの発生抑制、分別についての意識啓発を図る。 ・「広報おかや」やホームページ、新聞、テレビなどの媒体を使って周知を図る。 ・外国語のカレンダーを活用して、分別の周知を図る。 ・地区衛生自治会の協力をいただきながら、きめ細かな分別学習会の開催や、ごみ収集定位置での指導により、ごみ減量に向けた継続的な取り組みを行う。
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---